

# 1 森林資源の現状

- ◇ 本県の森林面積は34万7千haで県土の78%を占め、国有林5千ha(1%)、県有林15万8千ha(46%)、民有林18万4千ha(53%)から構成されている。
- ◇ 森林資源の構成は、人工林15万3千ha、天然林17万2千ha、その他2万2千ha。森林面積の44%を占める人工林の年齢構成は、X年齢以上(46年生以上)が73%であり、伐期に達した森林の占める割合が増加している。

森林面積と森林比率

全 国		
総面積	森林面積	森林比率
37,297 千ha	25,048 千ha	67.2%

※総面積は、全国市町村要覧平成29年版による

※森林面積は、森林法第2条第1項に規定する森林の数値(2018「森林・林業統計要覧」(林野庁編)による)

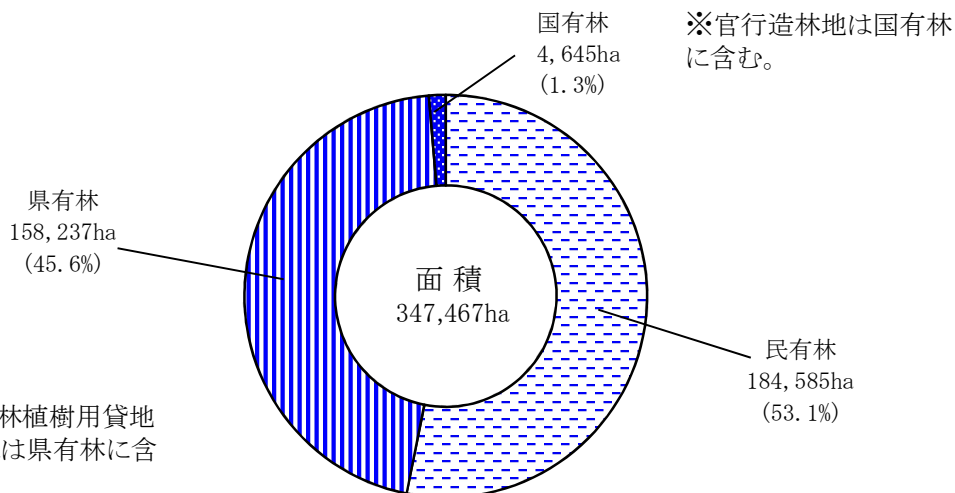
山 梨		
総面積	森林面積	森林比率
446,527 ha	347,467 ha	77.8%

※総面積は、「山梨県統計年鑑」(平成29年度刊行)による

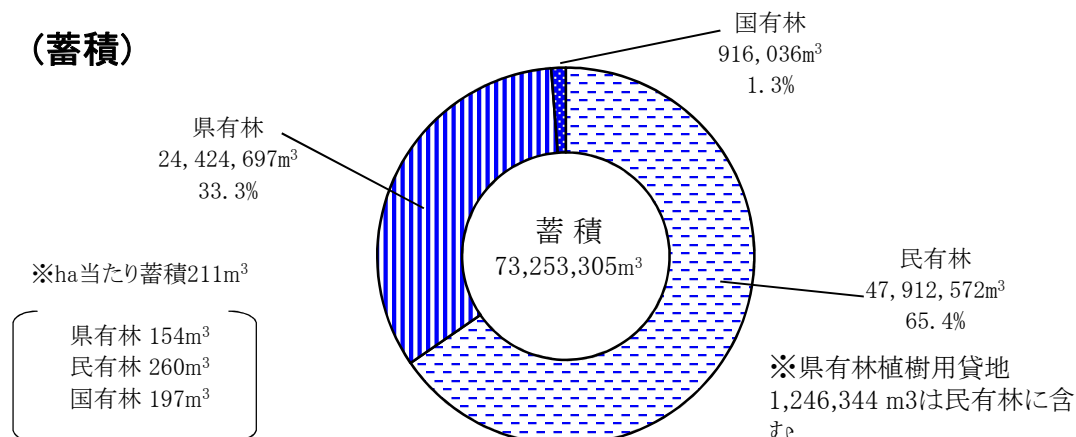
※森林面積は、森林法第5条に規定する地域森林計画の対象森林と県内国有林の計(H30.3.31時点)  
(森林整備課の業務資料及び関東森林管理局の数値による)

所有形態別森林面積と蓄積

(面積)



(蓄積)



### 人工林面積と人工林率

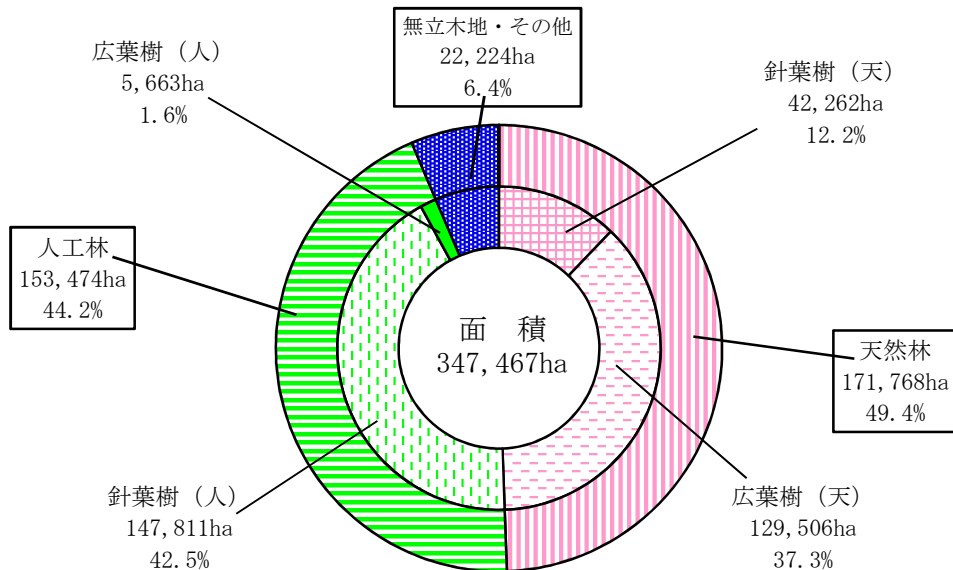
全 国		山 梨
10,204 千ha	人 工 林 面 積	153,474 ha
40.7% %	人 工 林 率	44.2 %

※全国の人工林面積は、2018「森林・林業統計要覧」（林野庁編）

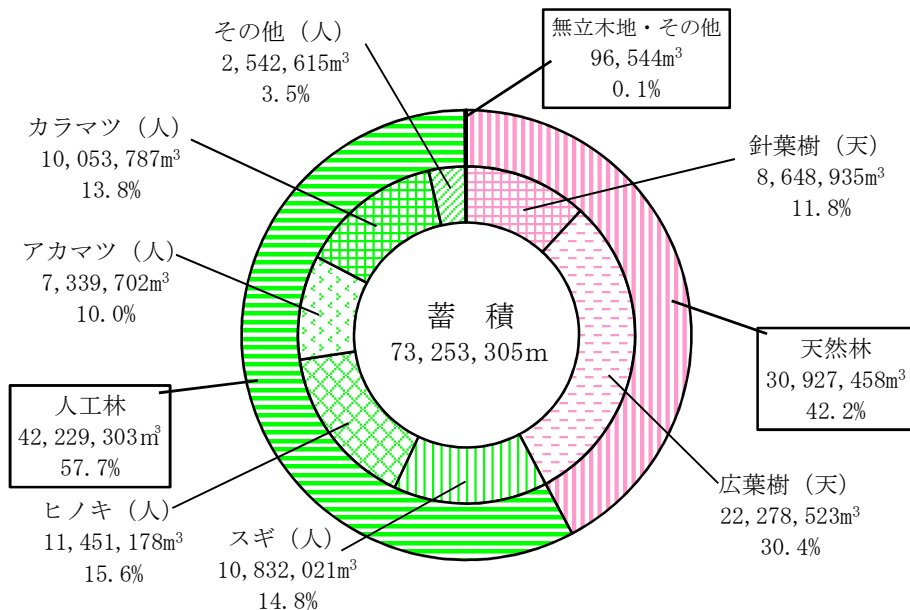
※山梨県の人工林面積は、森林整備課の業務資料（国有林については関東森林管理局の数値）

### 林種別・樹種別面積と蓄積

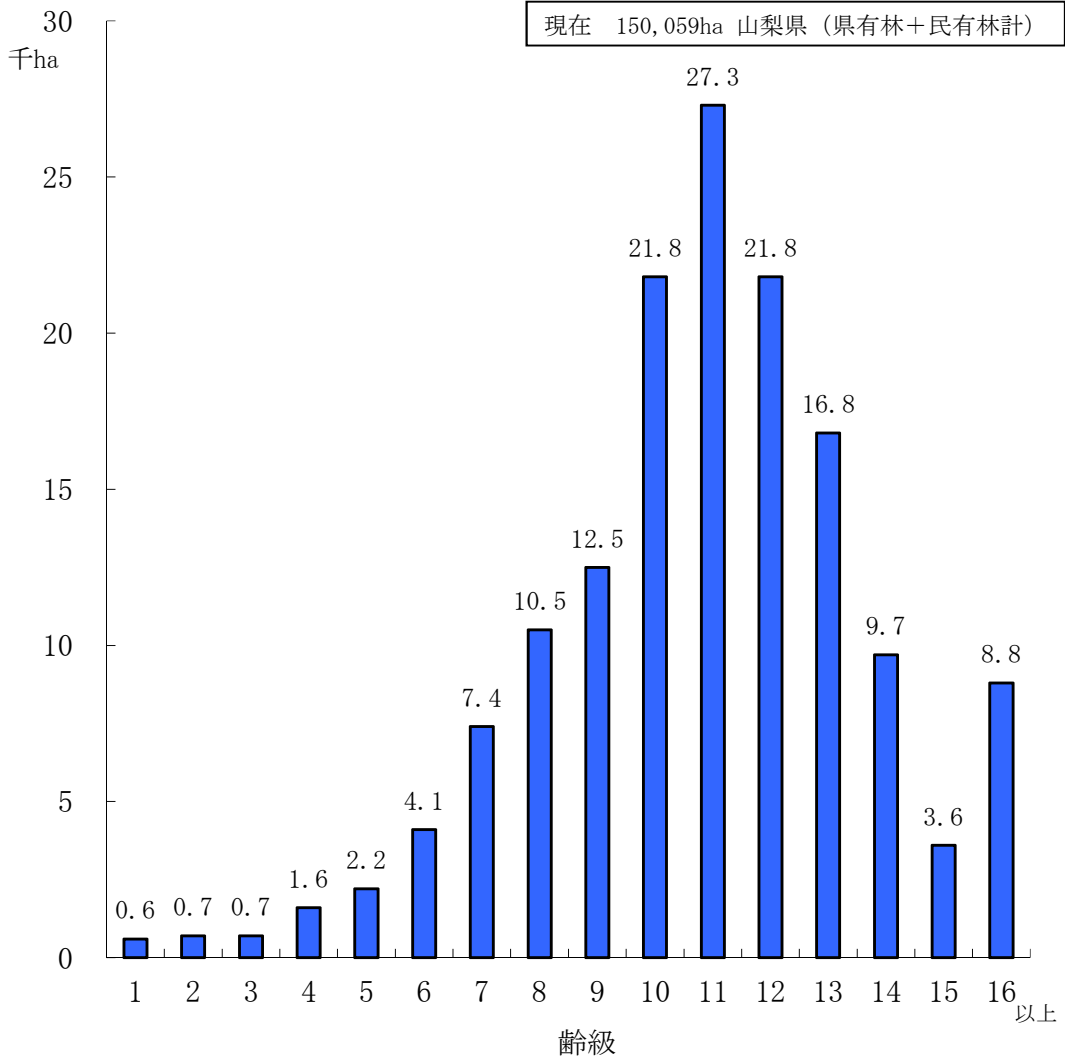
#### (面積)



#### (蓄積)



**齡級別人工林面積**



**構成比**

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16以上
山梨県	0	0	0	1	1	3	5	7	8	15	18	15	11	6	2	6%
全国	1	1	1	2	2	3	6	8	11	15	16	14	9	3	2	6%

**構成比(山梨県)**

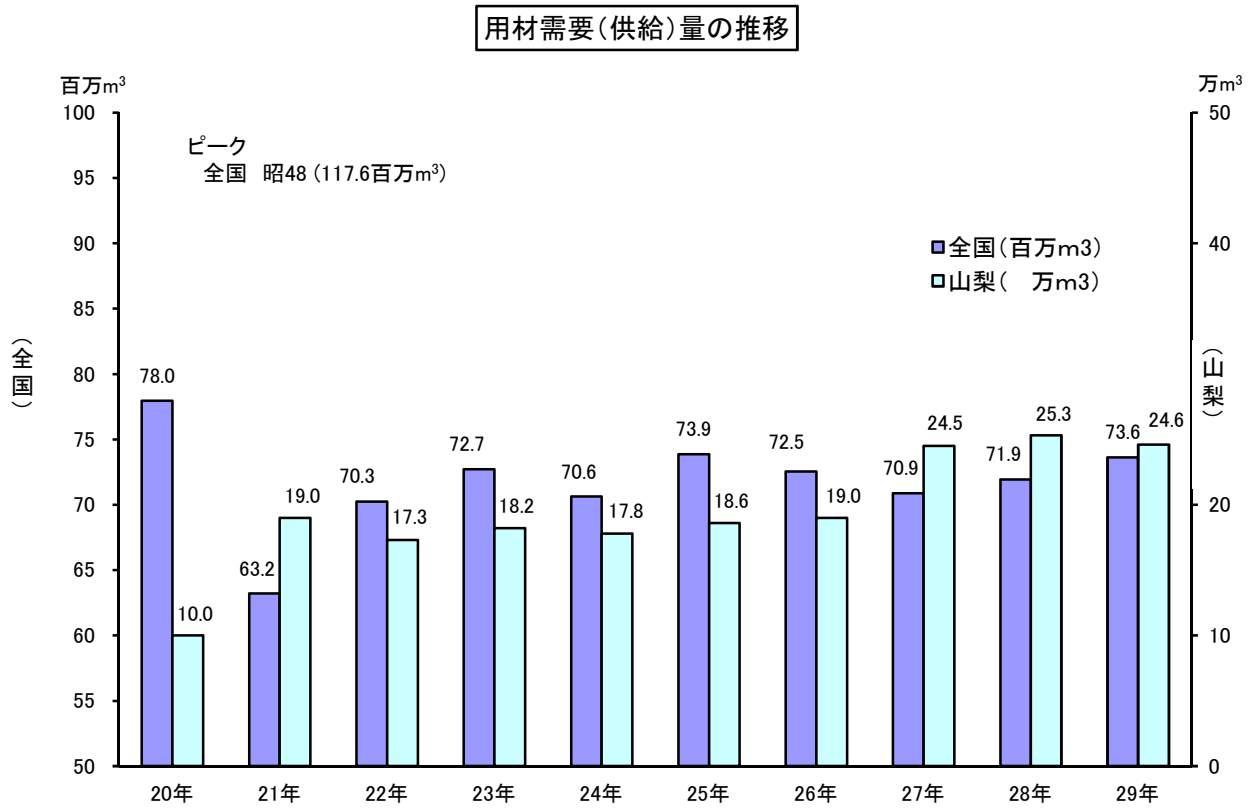
Ⅲ齡級以下 (15年生以下)	1%
Ⅳ～Ⅸ齡級 (16～45年生)	26%
Ⅹ齡級以上 (46年生以上)	73%

資料：全国は、2018「森林・林業統計要覧」（林野庁編）  
 山梨県は、森林整備課の業務資料（国有林除く）

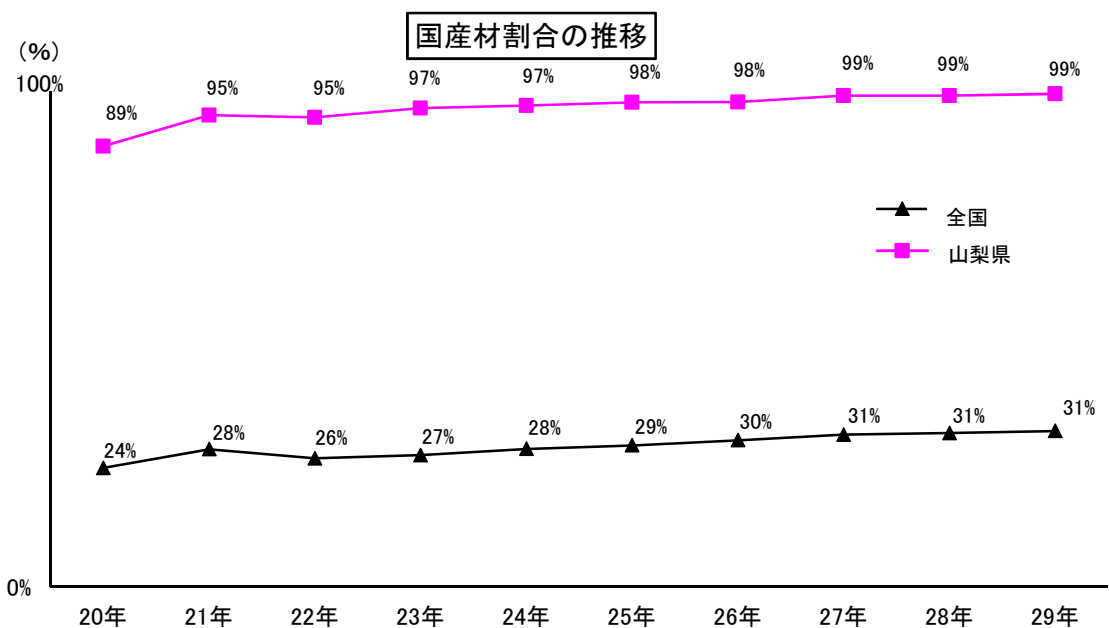
齡級：森林の林齡を5年の幅でくくった単位。人工林は、苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生をⅠ齡級、6～10年生をⅡ齡級と数える。

## 2 木材需給量と材価

- ◇ 本県の木材（素材）需給量は、横ばい傾向にあり、平成29年は246千 $m^3$ となっている。用途別内訳で、製材、木材チップともに減少傾向にある。
- ◇ 国産丸太価格は平成27年に低下し、平成28年度横ばいであったが、平成29年には再び上昇している。

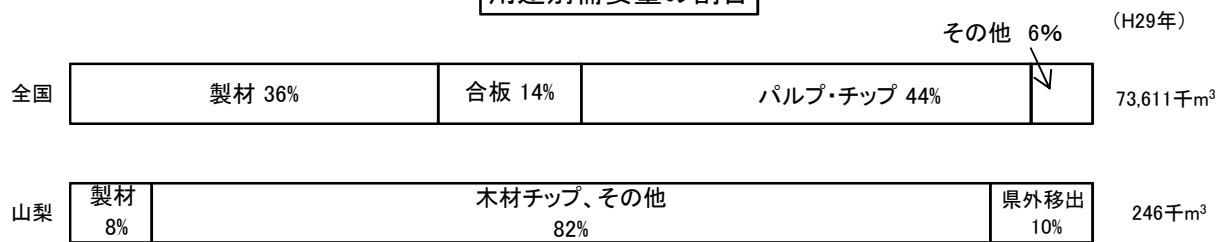


注:需給量には、製材品、木材パルプ、合板、薪炭材等の丸太以外の形態で輸入されたものについて、丸太材積に換算してカウントしている。

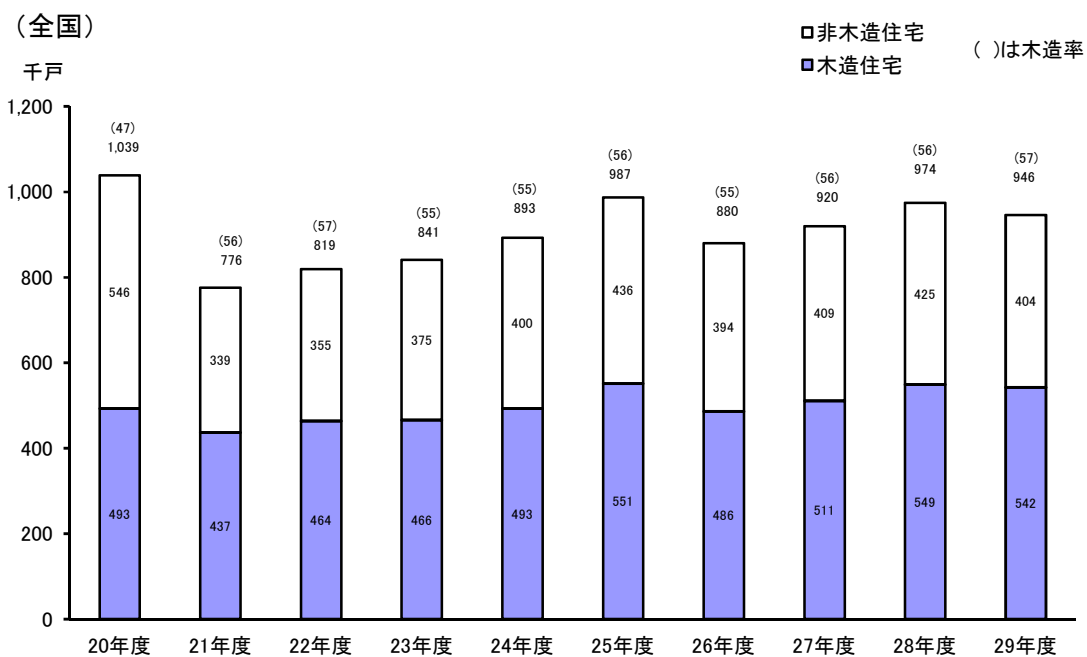
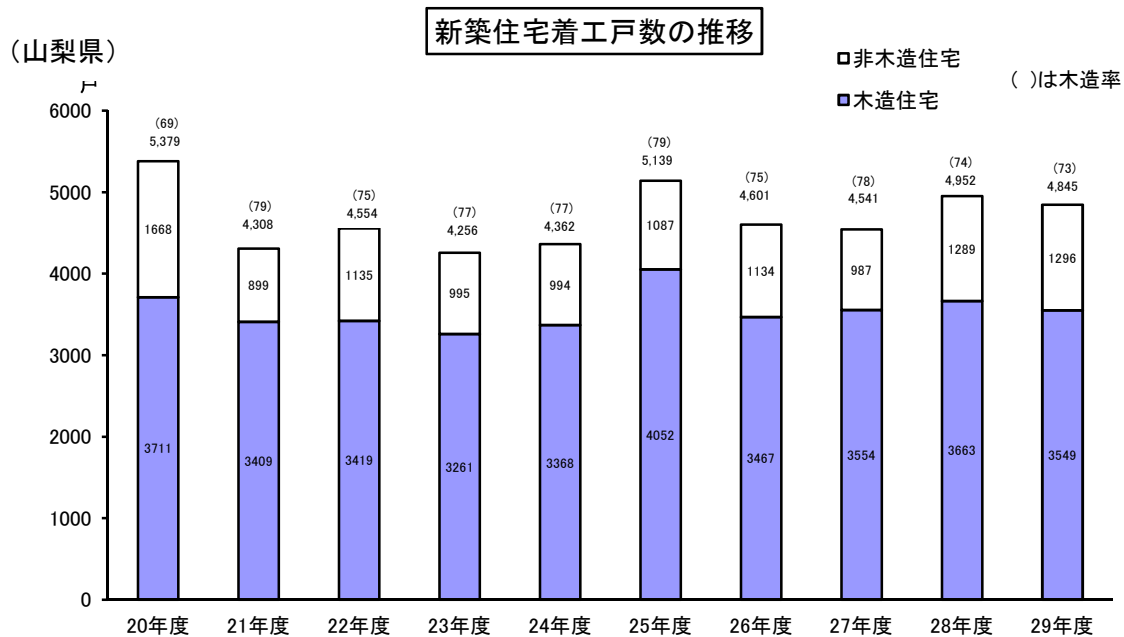


資料:木材需給表(林野庁)  
「県製材工場等調査等」(平成27年度～)

### 用途別需要量の割合



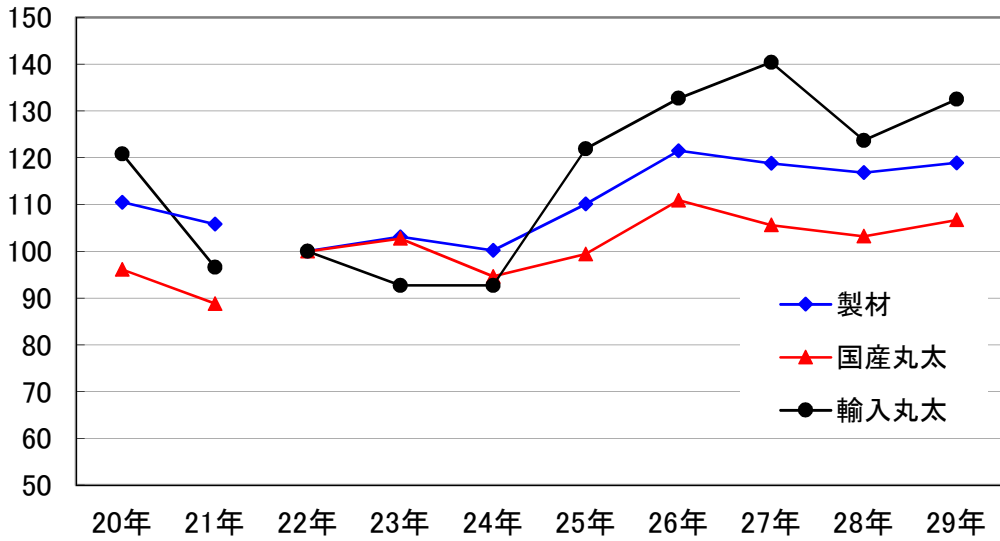
資料: 木材需給表(林野庁)  
県製材工場等調査等



資料: 国土交通省 住宅着工統計

## 木材価格指数の推移 (全国)

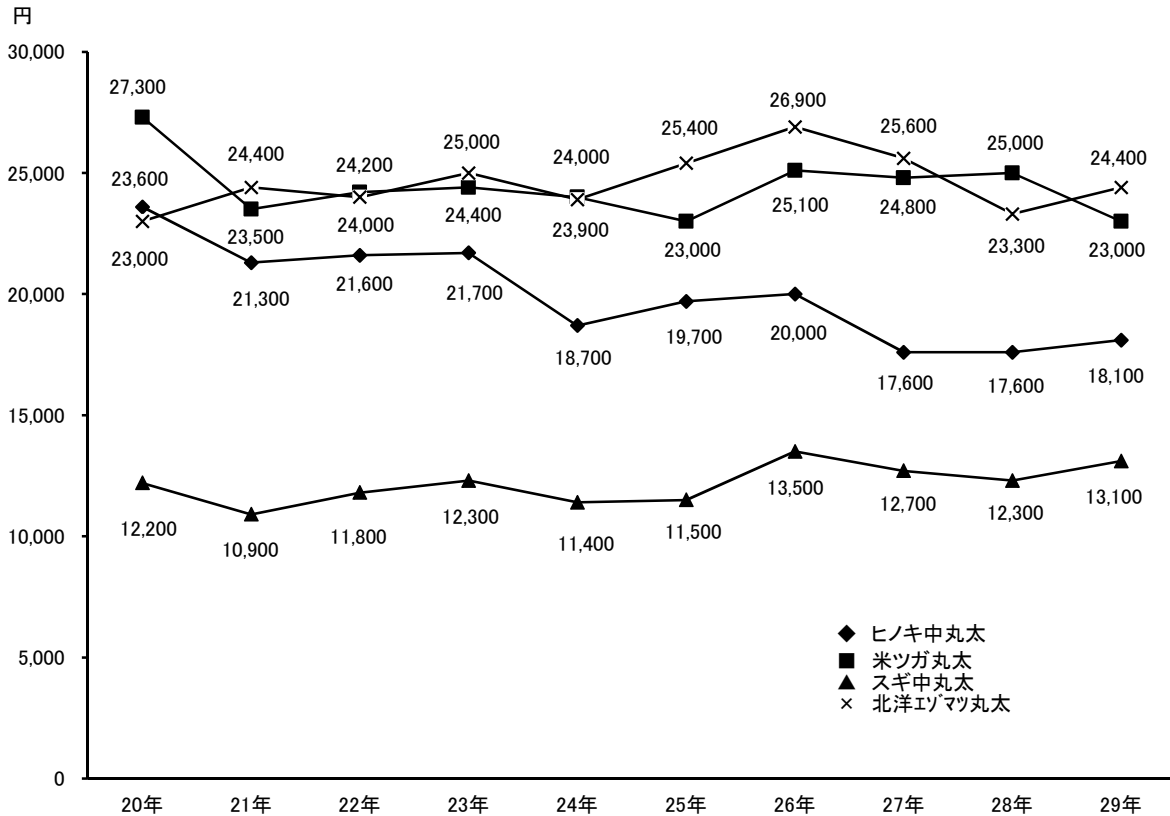
(平成22年平均=100)(平成21年までの年平均値は、平成17年平均=100で算出)



※出典「木材情報」物価指数の推移 (財)日本木材総合情報センター  
 ※出典元の国内企業物価指数、輸入企業物価指数が、H22を100として算出しているため、H21-H22間のデータは連動しない。

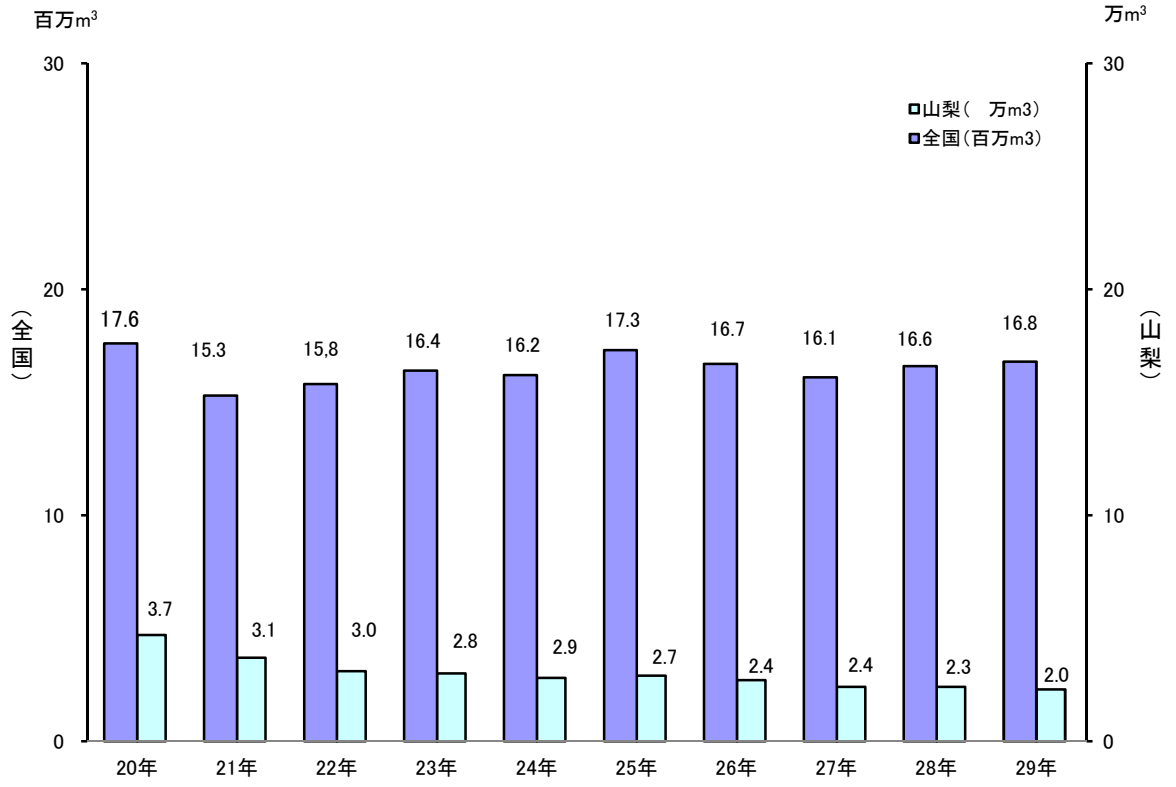
## 丸太価格の推移 (全国)

(㎡当たり)



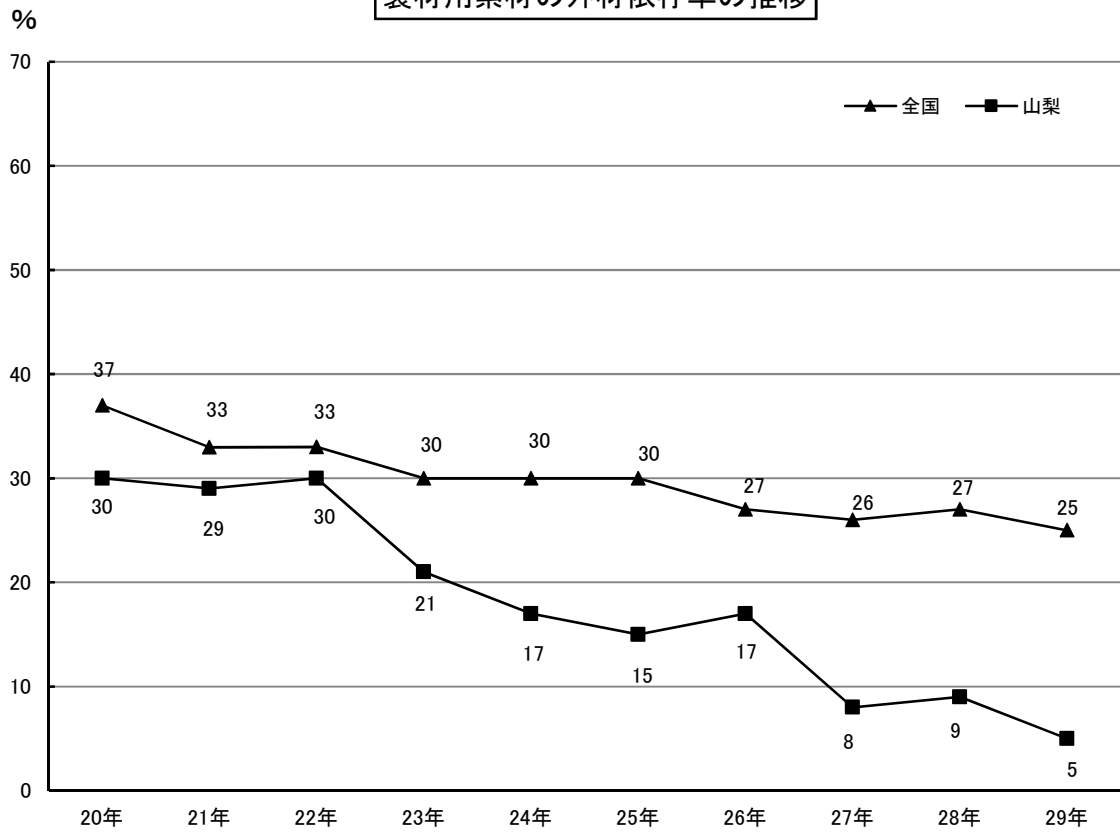
資料:「木材情報」製材用素材価格(財)日本木材総合情報センター

### 製材用素材の入荷量の推移



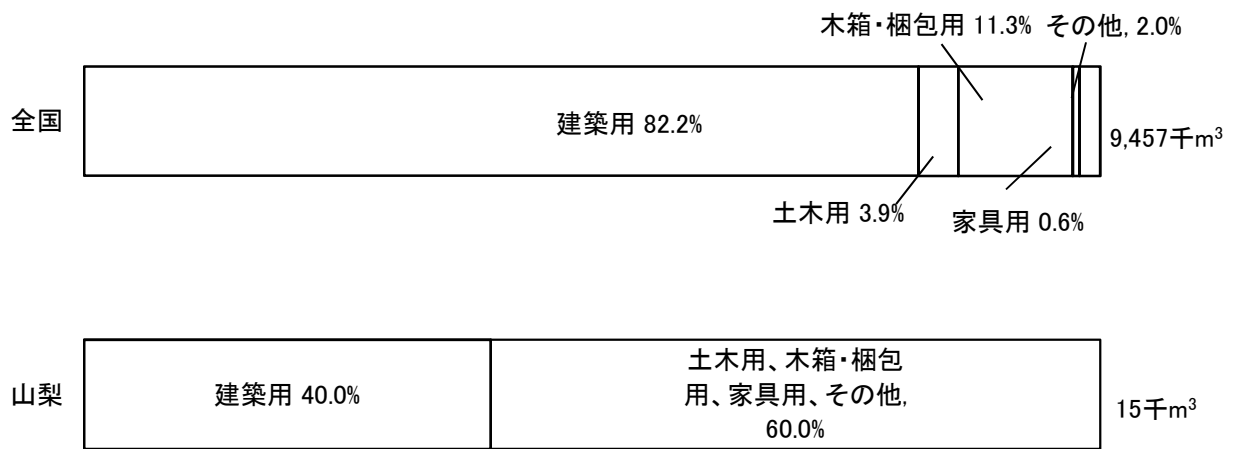
出典:木材需給報告書(農林水産省)

### 製材用素材の外材依存率の推移



出典:木材需給報告書(農林水産省)

製材品の用途別出荷量の割合



出典:木材需給報告書(農林水産省)

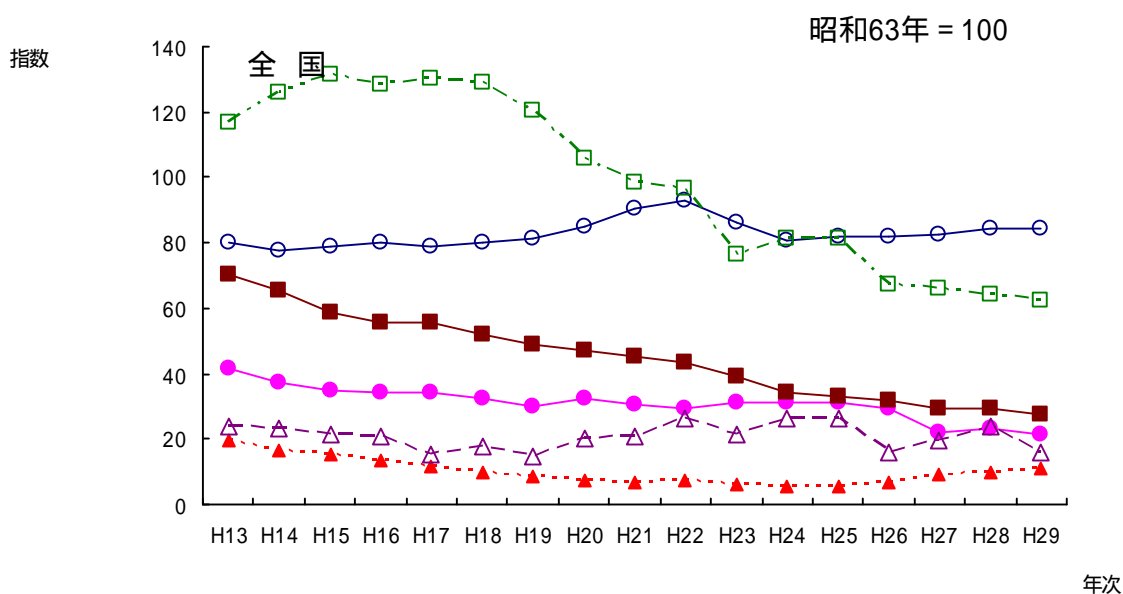
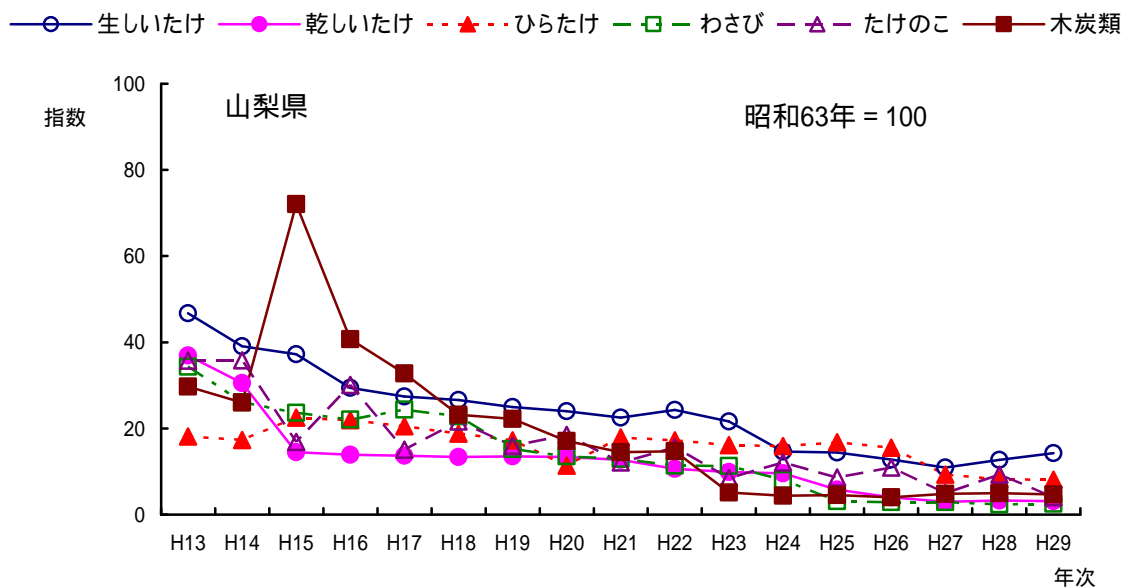
※土木用、木箱・梱包用、家具用、その他について、山梨県の内訳は非公表



### 3 主な特用林産物の生産量（指数）の推移

特用林産物は、農林家の短期収入源として重要な地位を占めているが、生産量は生産者の高齢化、安価な輸入品の増加などの影響を受け減少傾向にある。

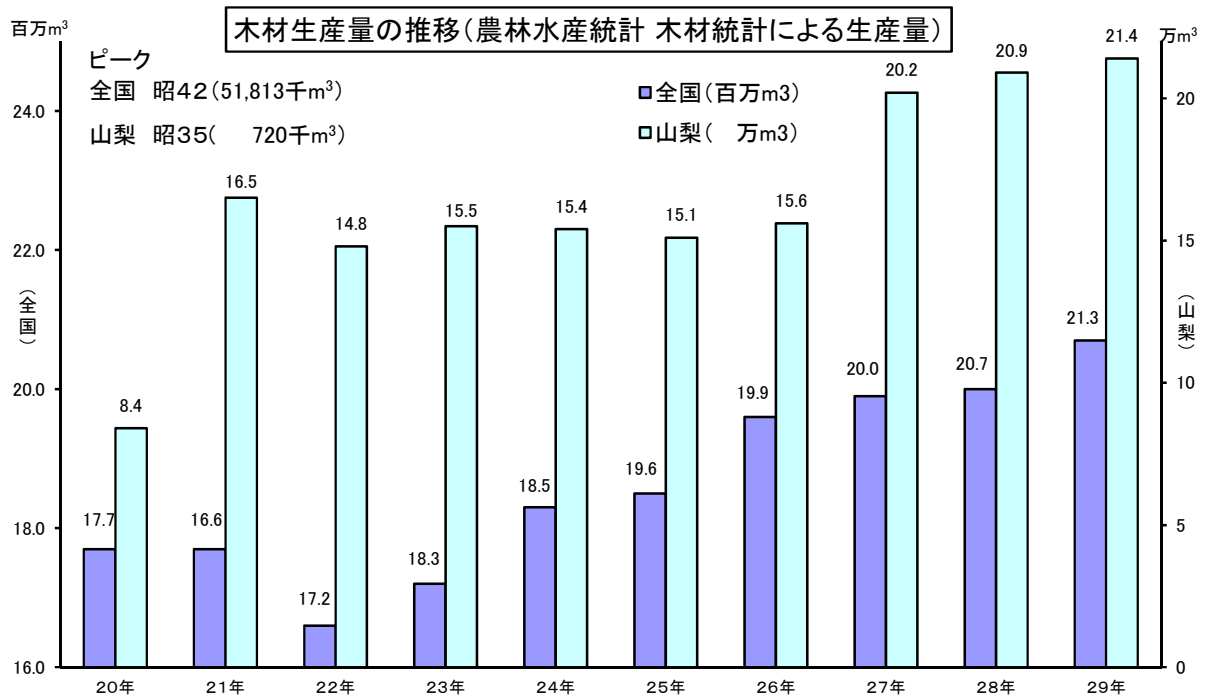
平成 29 年次は、本県では生しいたけのみが、全国ではひらたけのみが増加している。



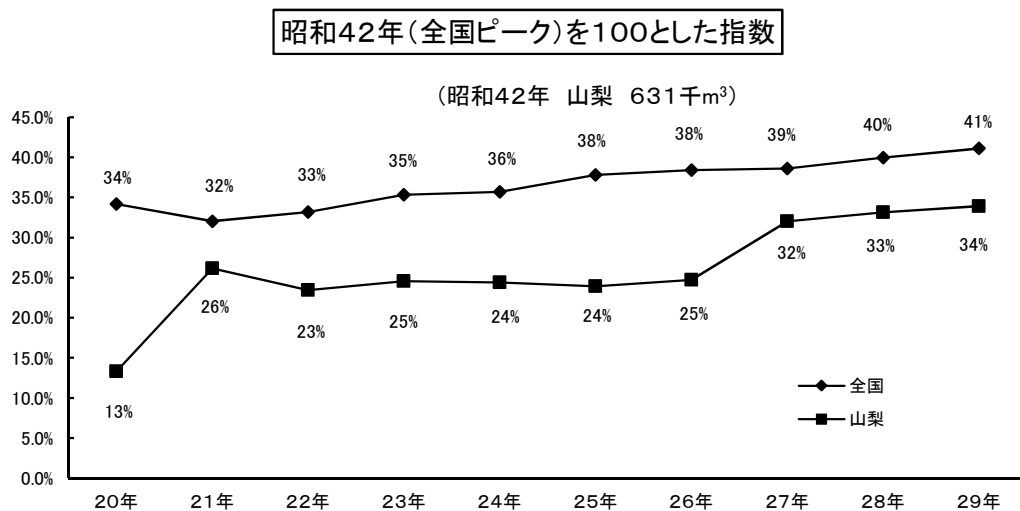
## 4 林業生産活動の動向

◇ 低迷していた木材生産量は、大幅に増加した平成21年度以降、増加傾向が続いている。また、本県の造林面積については、平成28年度は増加したものの、平成29年度には再び減少している。

◇ 林業就業者の動向を国勢調査で見ると、長期的には減少傾向で推移し、近年は下げ止まりの兆しがみられる。しかし、就労人口のうち65歳以上が占める割合を示す高齢化率は、全産業に比べてやや高く、35歳未満の若齢率は全産業に比べてやや低い傾向である。

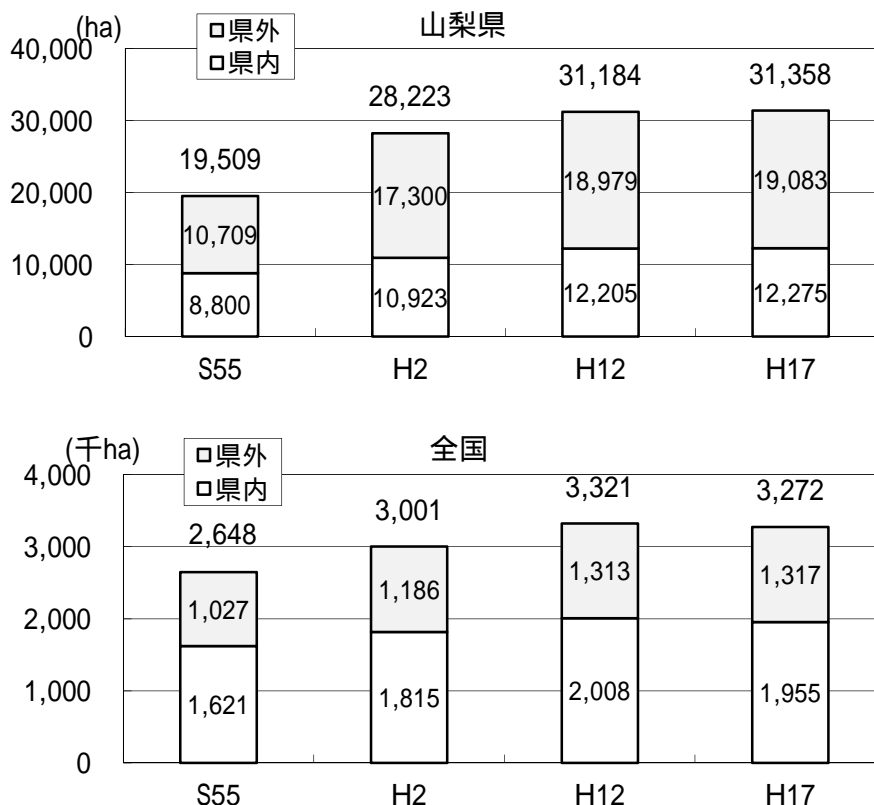


資料:「木材需給報告書」農林水産省統計情報部  
「県製材工場等調査等」(平成27年度～)



(参考)山梨ピーク(720千m³)時に対する29年次指数=23

## 不在村者森林所有面積の推移



資料：農林水産省「世界農林業センサス」(1980,1990,2000)「農林業センサス」(2005)  
2010年度調査から項目除外

(参考)

### 林家数の推移

全 国			山 梨	
2,531	千戸	昭和55年	25,521	戸
2,509	千戸	平成2年	24,074	戸
1,019	千戸	平成12年	9,812	戸
920	千戸	平成17年	9,324	戸
907	千戸	平成22年	9,128	戸
829	千戸	平成27年	8,294	戸

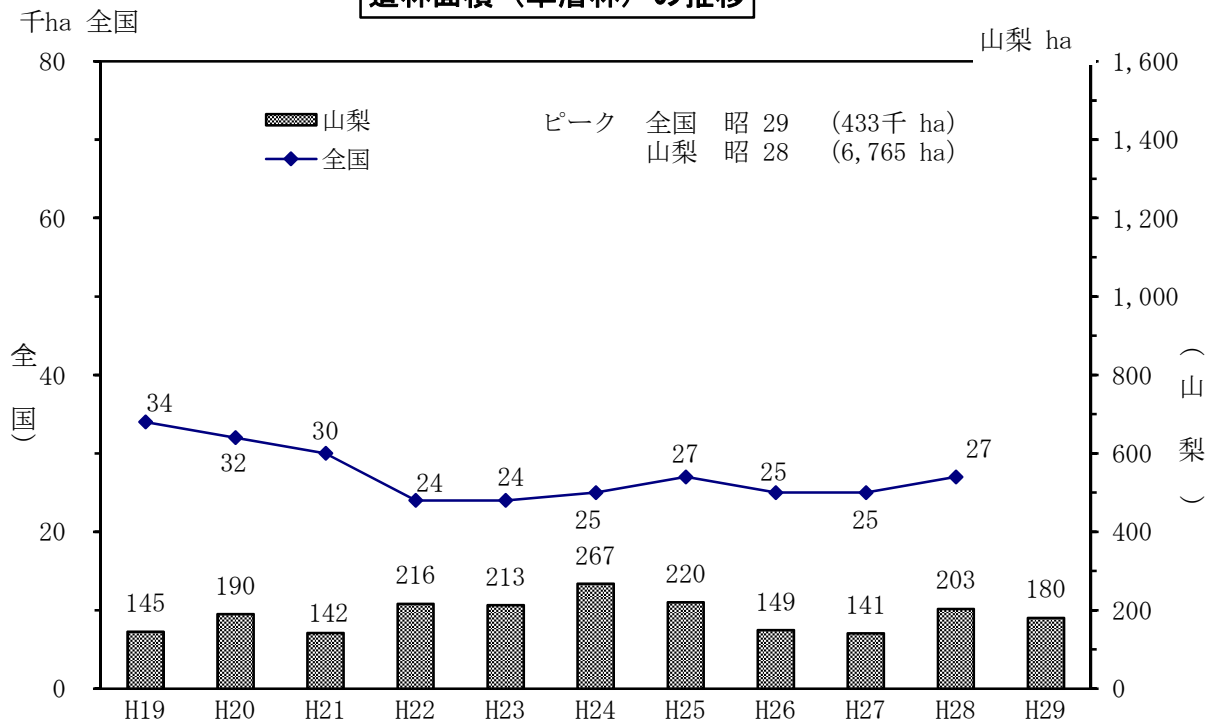
資料：農林水産省「世界農林業センサス」(1980,1990,2000)「農林業センサス」(2005,2010,2015)

### 林 家

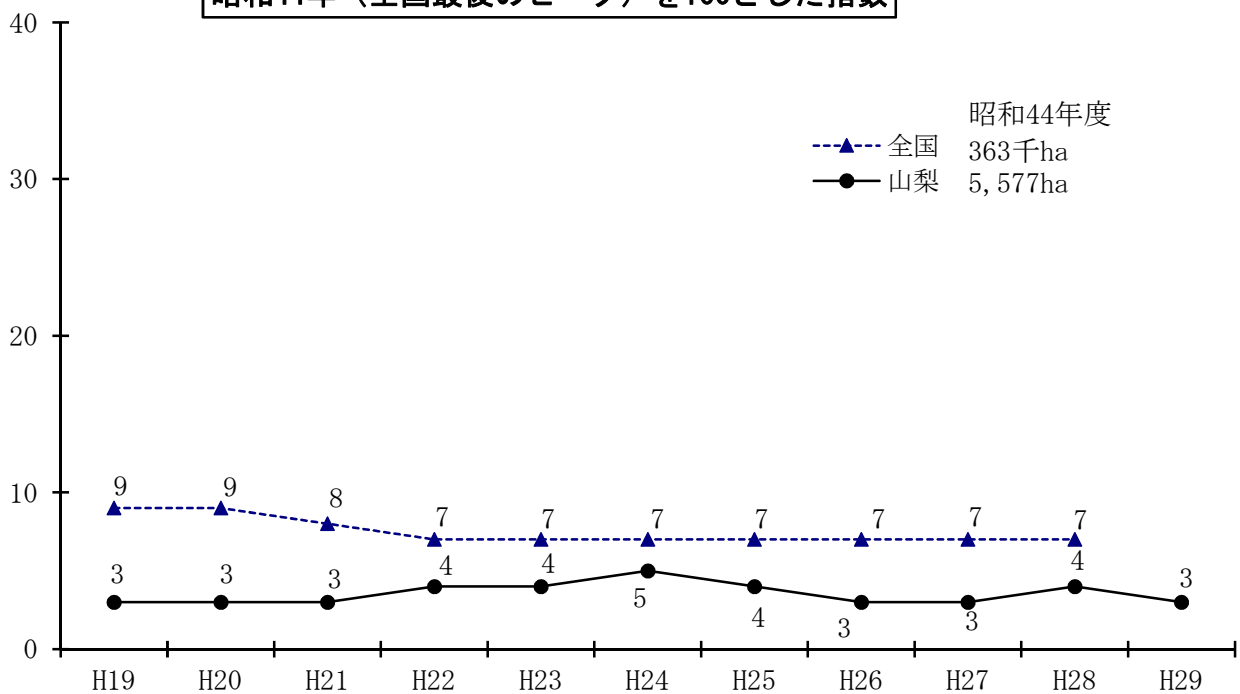
林家とは保有山林面積が一定規模以上の世帯

- ・ (昭和55年,平成2年)・・・保有山林面積が10a以上の世帯
- ・ (平成12年,平成17年,平成22年,平成27年)・・・保有山林面積が1ha以上の世帯

### 造林面積（単層林）の推移



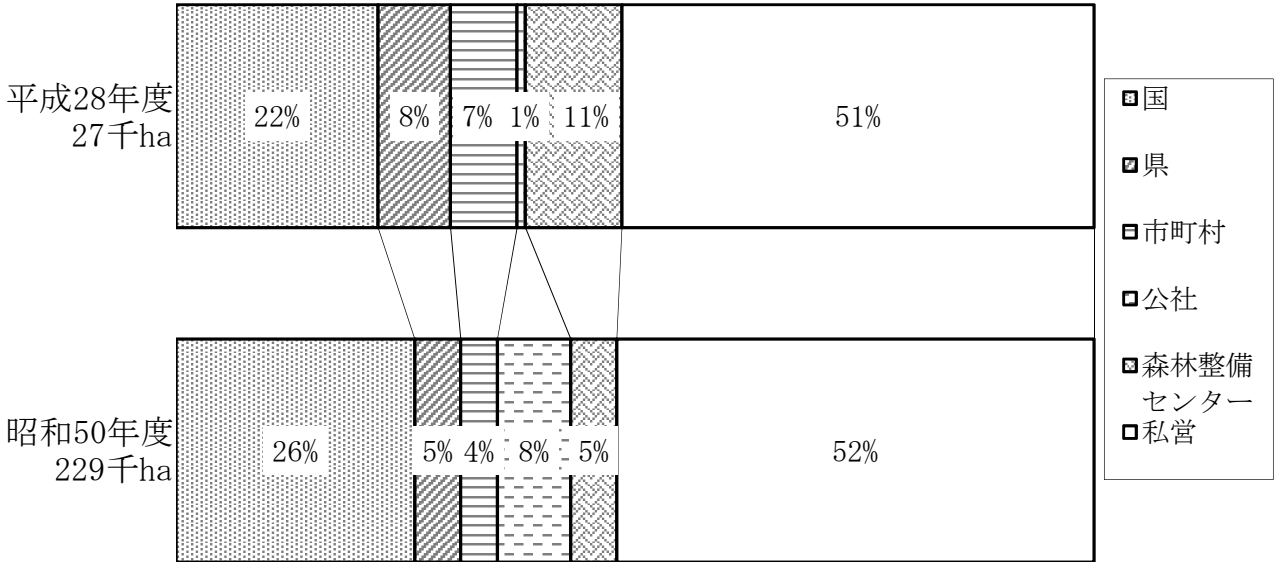
### 昭和44年（全国最後のピーク）を100とした指数



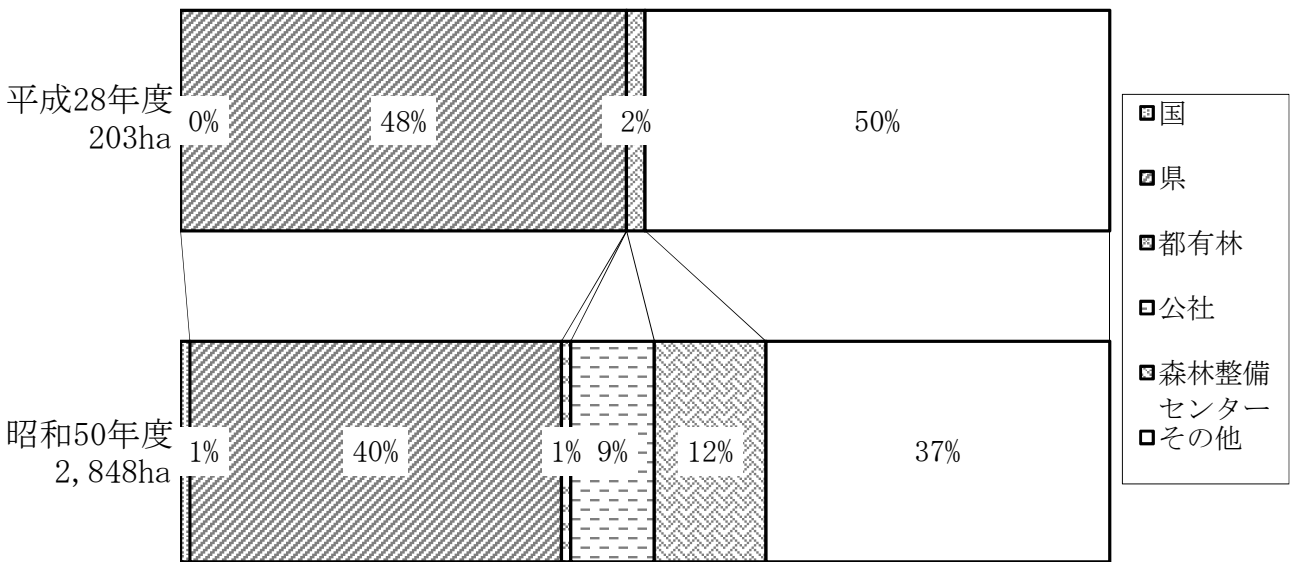
資料：全国のデータは、「森林・林業統計要覧（林野庁編）」より

## 施行主体別造林比率

### 全 国



### 山梨県

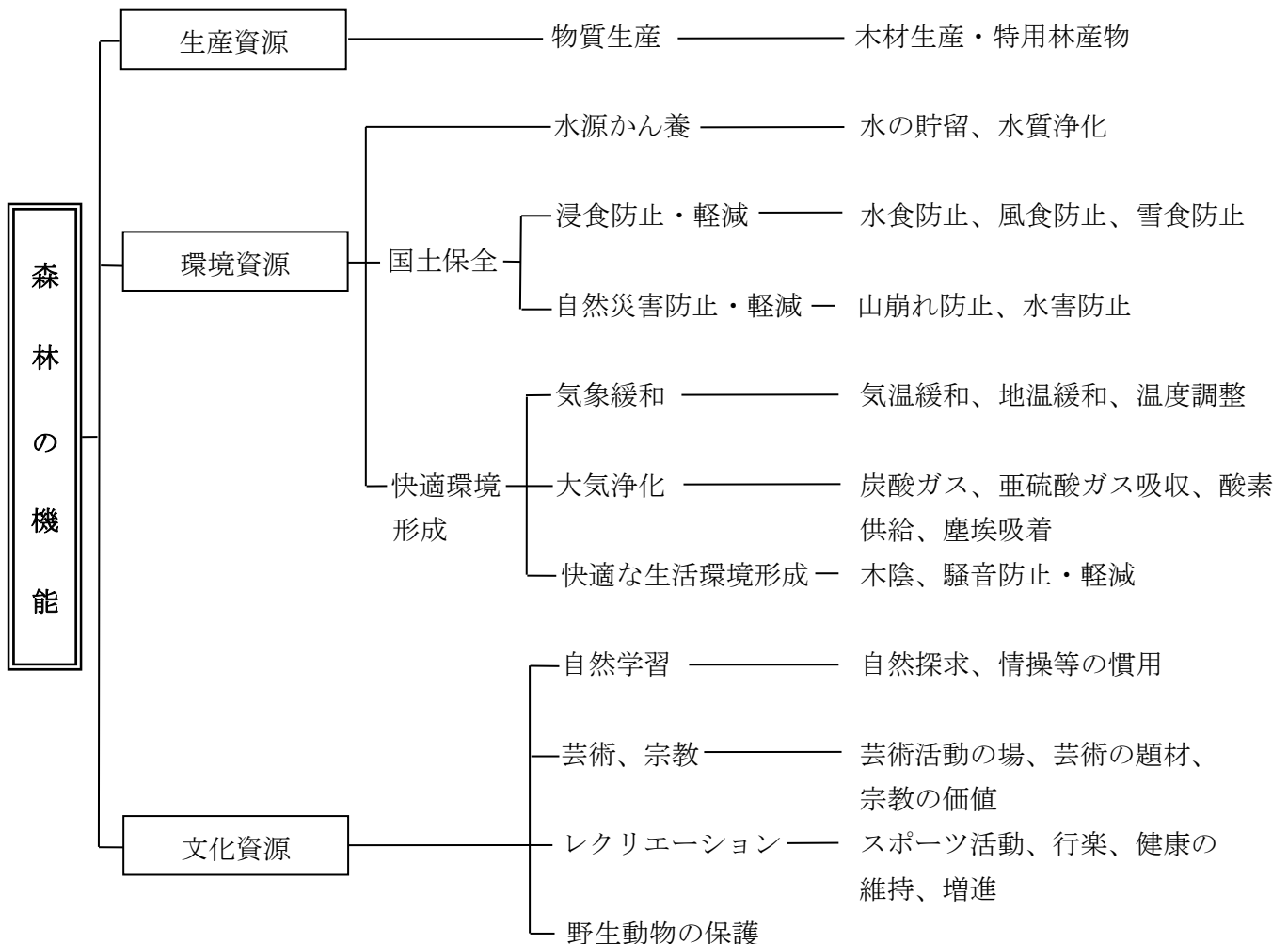


資料：全国は、林野庁「森林・林業統計要覧」より

## 5 森林・林業の役割

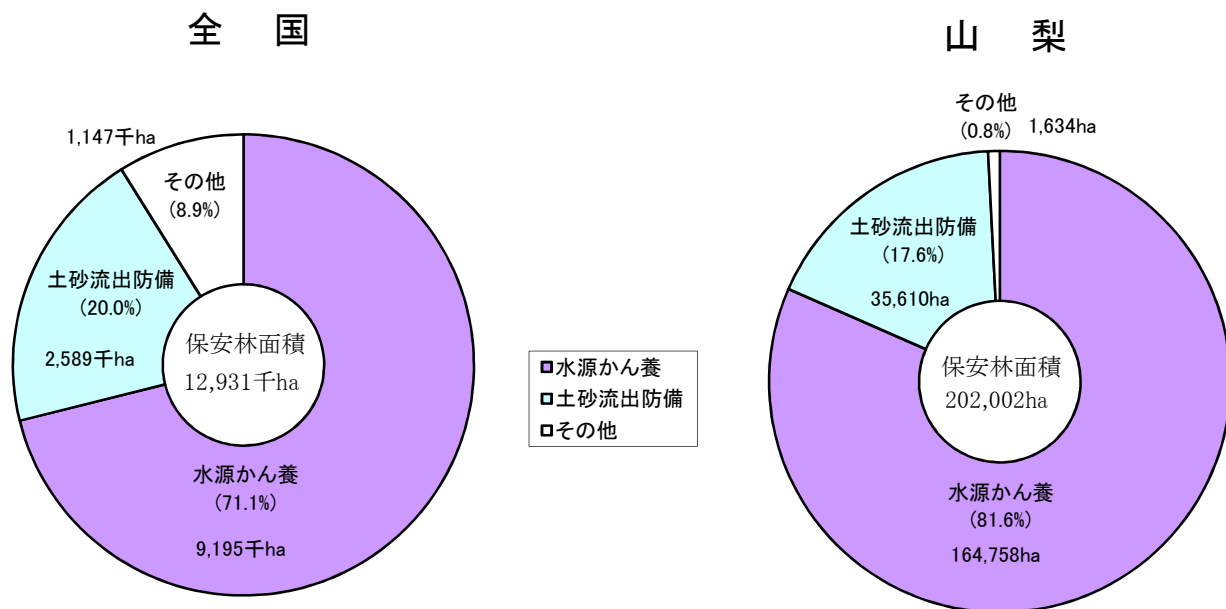
- ◇ 国土の7割を占める森林は、水源かん養、国土保全等の公益的機能、木材生産等国民生活に極めて大きな貢献をしており、本県の森林は、首都圏の水源地としての役割も担っている。
- ◇ 保安林は、国民の暮らしを守るために、特に重要な森林について、国や都道府県が指定した森林のことで、その目的に応じて17の種類に分けて指定されている。
- ◇ 山梨県では、このうち10種類の保安林が指定され、保安林面積は約20万ha（全森林の58%）である。四方を山々に囲まれ、古くから洪水等の災害が多かったため、保安林の指定率では、全国3位である。

### 森林の多面的機能



◇森林の公益的利用

保安林の種別構成割合



その他内訳

全国(単位:千ha)		山梨(単位:ha)		全国(単位:千ha)		山梨(単位:ha)		全国(単位:千ha)		山梨(単位:ha)	
(0.5)	60	土崩	14 (0.0)	(1.0)	126	干害	13 (0.0)	(0.0)	0	防火	26 (0.0)
(0.1)	16	飛砂防備	-	(0.0)	0	防雪	-	(0.5)	60	魚つき	-
(0.4)	56	防風	158 (0.1)	(0.5)	62	防霧	-	(0.0)	1	航行	-
(0.0)	1	水害	112 (0.1)	(0.1)	19	なだれ	-	(5.4)	701	保健	1,071 (0.5)
(0.1)	14	潮害	-	(0.0)	2	落石	3 (0.0)	(0.2)	28	風致	237 (0.1)

(注) 全国は平成29年3月31日現在(資料:2018「森林・林業統計要覧」(林野庁編))、  
 県は平成30年3月31日現在の数値である。

全国の内訳面積は延べ面積のため、合計面積とは一致しない。

県の内訳面積は端数処理の関係上、合計面積と一致しない。

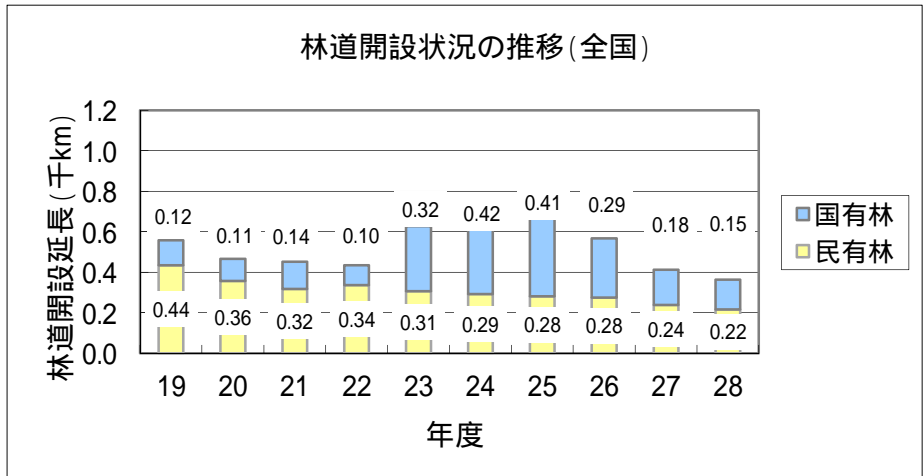
その他内訳の左側全国(単位:千ha)、右側山梨(単位:ha)

林道整備の目標と現況

林道整備目標と現況

全 国		山 梨
270.0 千km	基本計画目標 [ 全国 平成32年度 山梨 平成36年度 ]	2,225 km
139.2 千km	現況延長 [ 全国 平成28年度末 山梨 平成29年度末 ]	2,120 km
5.6 m	現在林道密度 (ha当たり)	5.9 m

資料: 全国は、2018「森林・林業統計要覧」(林野庁編)  
 山梨県延長には、国有林内延長を含まない  
 現況延長及び現在林道密度は、林道のうちの自動車道延長で算出



資料: 「平成29年度版森林・林業白書」参考付表(林野庁編)

